

大阪府市場だより



第410号 令和8年4月30日
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）
 連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
 U R L https://fu-ichiba.jp



公明党大阪府議会議員団 場内視察

4月21日（火）、公明党大阪府議会議員団6名の皆様が場内を視察されました。

午前7時00分、管理棟から2階フラットフォームを経て、冷蔵庫棟でマイナス50度をご体感。拓新水産をはじめとする水産仲卸売場、バナナ加工施設、

青果卸売場、食品衛生検査所を順次視察され、卸売業界の近況や中東情勢の影響、市場再整備に向けた思いなど、場内関係者と積極的に対話をされました。8時10分からは管理棟7階で開設者及び常駐代表者と懇談。冒頭、光野場長から「昭和53年の開設以来、府民の食を支えてきた。市場再整備など意見交換の時間も用意しており、現状をお伝えできればと思う」との

挨拶があり、指定管理者制度の導入など市場の概要や市場再整備に関する諸課題について、意見交換が行われました。特に、市場再整備については、議員の皆様から「業界として最も困っていることは何か」、「業界と府との間でどのようなズレがあるのか」、「他市場より使用料が高額なのは何故か」、「今後、10年ないし15年の間に対処すべき課題は何か」などのご質問がありました。

業界からは、「開設以来、卸売市場の社会的使命を果たしてきた自負はあるが、それでも建替えに伴う使用料の高騰は、端的に言って影響が大きく、ポトルネックになっている」、「各店舗が必要とする機能を余剰地にけり出してでもコストを下げようと努力しているが、大きな効果は見込み難い」、「家賃に加え、電気代など運営費の高騰も大きい」、「冷蔵機能のあり方について、府との間に認識の隔たりがある」、「密閉方式と開放方式の複合型を含む施設仕様など幅広く検討する必要がある」、「老朽化が進んでいる。事故が起こる前に対処する必要がある」、「広大な敷地を活用して賃料収入を増加させ、使用料倍率を引き下げることが必要」といった意見が出されました。

こうした意見を受け止め、議員団として真摯に取り組んでいきたいという力強いお言葉をいただきました。

■「こ来場府議」芳名（順不同）

中野副府議（茨木市）、肥後洋一朗府議（寝屋川市）、吉田忠則府議（高槻市及び三島郡）、堀川裕子府議（八尾市）、大竹いずみ府議（吹田市）、横道淳子府議（東淀川区）

■場内出席者

大阪府：光野市場長、高橋次長、村形参事、高取課長
 業界：北果三木社長、大果酒井支社長、うおいち小笠原支社長、大水花木支社長、青果組合西田理事長、水産組合杉江理事長、管理ター宮前専務取締役、同浜本執行役員



絵：「たい」



市場関係人事異動

※敬称略、発令は令和8年4月1日付け。但し、退職は3月31日付け、新規採用は府中央卸売市場が4月10日付け、府食品衛生検査所が4月3日付け。()内は前職

■大阪府(中央卸売市場関係)

《転入》▽環境農林水産部次長(万博推進局副理事)長町憲一
▽流通対策室市場・検査指導課長(健康医療部国民健康保険課長)榎内伸悟

《転出》▽税務局長(環境農林水産部次長)大武基▽商工労働部副理事兼成長産業振興室副理事(流通対策室市場・検査指導課長)田中正樹

■府中央卸売市場

《転入》▽市場長(福祉総務課長)光野秀樹▽管理担当課長(地域福祉課課長補佐)森川剛史▽主査・指導総括(環境農林水産総務課課長補佐)環境農林水産総合研究所(奥林昌信)▽主事・会計担当(新規採用)眞鍋華歩▽主事・指導業務担当(庁舎管理課主事)内田祥太

《転出》▽退職(市場長)大西のぶえ▽泉南府税事務所主査(主査・青果総括)今野百恵▽総務部人事課主事(主事・会計担当)岩根奈津紀

■府食品衛生検査所

《転入》▽課長補佐(食の安全推進課課長補佐)寔屋川市 岩尾 暁美▽課長補佐(食の安全推進課課長補佐)木元大▽主査(和泉保健所主査)塩谷理▽主査

(茨木保健所主査)森さやか
▽技師(新規採用)木村俊太
《転出》▽羽曳野食肉衛生検査所長(課長補佐)飯田芳人
▽食の安全推進課主査(吹田市(主査)中地ひろみ▽四條 畷保健所副主査(副主査)皆木香織▽食の安全推進課・食品衛生広域監視センター)副主査(副主査)古井大司

衛 食 だ 大 食

食品衛生検査所

令和8年度の業務予定

食品衛生検査所では、「有害・不良な食品を市場に入れない、作らせない、出さない」を信条に、食品流通の一大集散拠点である大阪府中央卸売市場にて、「加工・製造・販売を行う場内営業施設への監視指導」、「場内を流通する食品の検査」、「場内事業者への衛生教育」を行い、食の安全の確保を図っています。

○場内営業施設への監視指導

今年度も、重点監視事業を行います。

HACCPの考えを取り入れた衛生管理の実施状況を確認するため、食品の製造・加工・調理を行う場内営業施設を対象に衛生管理計画の内容や記録類の点検を行います。

併せて、設備・器具類の拭取り検査、設備の設置確認も行います。販売のみを行う営業届出施設においても、計画や記録類の点検を行います。

重点監視の結果を踏まえ

て、ステップアップのための助言も行います。

○場内流通食品の検査

今年度は、約240件の検査を予定しています。近年の検査で食品衛生法違反が判明したもの、流通量が多いもの、旬のものなど、様々な食品を対象として検査し、その結果を活用して、場内事業者の自主衛生管理のさらなる向上を目指します。

衛検では、取扱商品を対象とした細菌検査の御依頼も受け付けております。自社商品の開発や取引先への商品情報の提供等に御活用ください。

○場内事業者への衛生教育

研修会や市場だよりなどを通じて食品衛生に関する情報発信に努めます。衛生に関すること以外に、営業許可・届出や食品表示に関する疑問や相談も随時お受けしますので、お気軽にお声掛けください。

出店場所：管理棟前駐車場

5月

キッチンカースケジュール

諸事情により、日程変更、中止させて頂く場合がございます。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8 A	9
10	11	12	13	14 B	15	16
17	18	19	20	21	22 C	23
24	25	26 D	27	28	29	30

A 11:00~14:00 MAHALO
ロコモ丼
モチモチケン

B 9:00~14:00 Kitchen
きやんここ
ホットドッグ

C 10:00~14:00 Rabbit's Crepe
クレープ
ジギスカン井
十勝の豚丼

D 10:00~14:00 Y's Crepe
クレープ

大阪府中央卸売市場管理センター

令和8年度検査予定

	細菌検査	理化学検査
4月	海藻・ケン、場内加工鮮魚、しらす・ちりめん	—
5月	カット野菜・果物、うなぎ・あなご、スプラウト野菜	中型魚類(水銀・PCB)、国産農産物(残留農薬)
6月	生食用鮮魚介類、マグロ	マグロ(ヒスタミン)、中型魚類(水銀・PCB)、国産農産物(残留農薬)
7月	生食用鮮魚介類	加工食品(保存料等)、国産農産物(残留農薬)、養殖鮮魚(抗菌性物質)
8月	生食用鮮魚介類	国産農産物(残留農薬)、輸入かんきつ類(残留農薬・防ばい剤)、鯨肉製品(発色剤)
9月	生食用鮮魚介類、ヒラメ	鮮魚(ヒスタミン)、国産農産物(残留農薬)
10月	生食用鮮魚介類、集団給食調理品	場内加工エビ(漂白剤)、国産農産物(残留農薬)
11月	生食用かき	輸入エビ(抗生物質)、国産農産物(残留農薬)
12月	—	国産農産物(残留農薬)、輸入かんきつ類(残留農薬・防ばい剤)、加工食品(保存料等)
1月	しらす・ちりめん、生食用かき	しらす・ちりめん(漂白剤)、国産農産物(残留農薬)
2月	生食用かき	たらこ・明太子(発色剤)、国産農産物(残留農薬)、輸入かんきつ類(残留農薬・防ばい剤)
3月	生食用かき、ホタルイカ	場内加工エビ(漂白剤)
随時	マグロ(スタンプ検査)、場内流通品、施設設備・器具(スタンプ検査)	食品の温度測定、ちりめん(漂白剤の簡易検査)、施設設備・器具(ATP)

《4月~3月・累計》

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	128,388,751	98.7	34,498,718	92.6
	果実	48,073,656	102.1	22,565,092	96.6
	小計	176,462,407	99.6	57,063,810	94.1
水産物	生鮮水産物	15,264,844	101.8	18,473,061	105.5
	冷凍水産物	1,886,889	93.4	3,277,753	98.8
	加工水産物	7,656,253	100.3	11,266,268	105.6
	冷凍食品	4,140,019	90.9	2,777,493	98.3
	小計	28,948,005	99.1	35,794,575	104.3
総計		205,410,412	99.5	92,858,385	97.8

《管理センターとりまとめ》

《3月》

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	11,575,852	89.6	3,058,233	80.0
	果実	3,805,515	104.2	1,916,468	97.1
	小計	15,381,367	92.8	4,974,702	85.8
水産物	生鮮水産物	1,217,003	103.1	1,553,676	107.8
	冷凍水産物	152,255	97.2	242,987	103.0
	加工水産物	625,621	99.5	909,452	111.4
	冷凍食品	520,465	98.5	362,678	105.2
	小計	2,515,344	100.8	3,068,793	108.1
総計		17,896,711	93.8	8,043,495	93.2

卸売業者取扱高

(3) 市場だより

32件より更に累犯で入場禁止
 ↓2階プラットフォーム荷捌き
 場東側の側溝で大量の吸い殻が
 発見された。該当の業者に対し、
 厳正に改善を申し入れる。

交通安全対策
 交通内交通事故(R7年度)

人身事故	2件	(11件)
物損事故	47件	(50件)
うち市場施設の物損※	16件	(29件)
うち車両同士の衝突	31件	(21件)
合計	49件	(61件)

()内はR6年度の件数
 ※トラック車両による市場施設の物損事故2件(R8.3)
 > 青果買出入駐車場出入口ポール、
 青果立体駐車場 AB 間冷蔵庫
 > 被害額は全額求償

鳥獣対策

カララス対策
 ↓R7年度捕獲数 1055羽
 ・H24年度よりR7年度カラ
 ス捕獲業務実績 677羽
 ↓R8年度捕獲数(4/1) 4/8 71羽

第16回定時株主総会

6/25(木)8:30~9:00
 ※終了後、北冷株主総会

協会からの報告

清祓魚供養・青果供養
 ・魚供養は9時30分集合、青
 果供養は10時45分集合。

協会理事会(6/25)

7年度事業報告・決算、8年
 度事業計画・予算、役員の選出
 を上程。決算剰余金が生じて
 おり、50周年に向けて積み立
 てが進んでいる。

(議長) 50周年事業を理事会
 で議論できるように準備せよ。

衛検からの報告

7年度第4四半期における検
 査の結果、3月検査の「生食用か
 き」で成分規格を逸脱した検体
 があり、加工者を所管する自治
 体に対し食品衛生法違反として
 通知した。また、毎年実施してい
 る重点監視事業を5月14日か
 ら11月30日の間、実施する。

場長から

常駐代表者会議が有意義な
 会議であると改めて感じた。
 府として情報提供や規律が守
 られるような環境整備を行
 い、情報共有を進める所存。こ
 れからもご協力をよろしく。

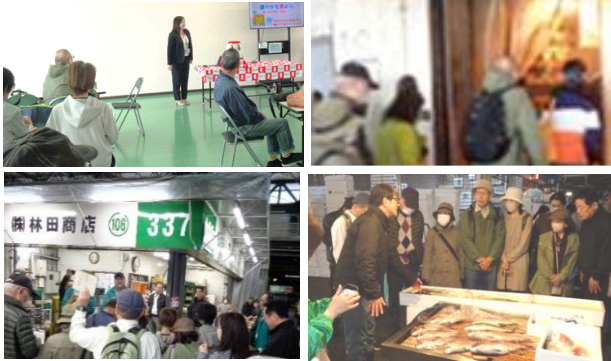
京阪百貨店

市場お買い物見学ツアー

4月17日(金)、午前8時30
 分から標記ツアーが開催され、
 同百貨店の顧客22名様とスタ
 ップの名様が来場されました。

一行は、マイナス50度の
 冷蔵庫への入庫体験を経て、
 水産仲卸売場で拓新水産から
 鮮魚の食べ頃、お勧めの調理
 方法、天然モノと養殖モノの
 見分け方などの説明を受け、
 次いで、青果仲卸売場では、北
 果と林田商店のご協力による

「模擬セリ」を体験されまし
 た。また、途中、青果棟2階休
 憩室で近畿中央ヤクルト販売
 ㈱の皆様からヤクルト1000等の
 提供を受け、「腸活」の健康管
 理における有用性について、
 クイズを交えた楽しい説明を
 受けられました。



大阪なすプロモーション

4月23日(木)、JA大阪南と
 追手門学院大学村上ゼミの皆
 様が「大阪なす」の試食宣伝会を

開催されました。

冒頭、JA大阪南常務理事田中
 様から「大阪なすは、柔らかくて
 ポリウムがあり生活習慣病予
 防にも役立つ食材。精一杯生産し
 ますので、広く販売してください
 ようお願いします」とのご挨拶が
 あり、次いで、青果組合西田理事
 長、大果酒井支社長が、「皆様が
 丹精込めて生産された大阪なす
 を頑張ってください。ご安心く
 ださい」と挨拶をされました。ま
 た、光野市場長から「個人的にな
 すが好き。大阪産のなすが全国
 で賞味されることを期待します」
 との挨拶があり、次いで、JA大
 阪南茄子部会東條支部支部長古
 川様が、「大阪なすが繊細な工程を
 経て生産されていることを紹
 介されました。



市場取扱品流通状況調査

令和7年分標記調査の報告
 書を管理が公表しました。

この調査は、当市場の流通実
 態の把握を目的に、野菜、果実、
 生鮮水産物、加工水産物の別に
 販売先の主たる営業所所在地、
 その業態(小売り、スーパー等)、
 販売量を内容とし、場内事業者
 を通じて毎年、10月第一土曜日
 を対象に行われています。

報告書では、前年に比べ取扱
 件数が減少し取扱数量(kg)が
 増加したことや過去10年間で
 三島・豊能・北河内などいわゆ
 る「供給圏」への供給割合が減
 少傾向にあること、スーパーへ
 の搬出割合が減少傾向にある
 ことなどが示されています。

調査結果の概要は、日報等の
 各種市況情報とともに、管理の
 ホームページでも公表され
 ています。



西田理事長



酒井支社長



光野市場長



左: JA大阪南常務理事 田中様
 右: JA大阪南茄子部会東條支部
 支部長 古川様

常駐代表者会議

標記会議(三木博司議長が4月16日木)に開催されました。議事概要は次のとおりです。

3月30日に逝去された阪本芳雄様(株)さかもと会長、府水産物卸協同組合副理事長、府中央卸売市場協合理事)を偲び、1分間の黙祷を捧げた。また、大阪府光野場長とうおいち小笠原支社長から転入の挨拶があった。

令和8年度常駐代表者会議の運営等(市場協会事務局)協会の規約第7条第5項により北果三木社長が議長に選出された。

府からの報告

8年度大阪府の人員体制府庁本庁で環境農林水産部次長と流通対策室市場・検査指導課長の異動があり、場内で市場長をはじめ3名の転出と5名の転入があった。

(議長)本庁の皆さんとのコミュニケーションを図りたい。開設者に仲介をお願いする。

取扱高等

7年4月〜8年3月累計速報値前年度比較で、市場主体の取扱高は金額ベースで約21億円、22%の減少、直接集荷は金額ベースで約69億円、47%の減少。

(常駐代表者)直接集荷の減少は、業務規程44条の届出の懈怠が原因ではないか。

(大阪府)事業検査で検査対象仲卸業者は漏れなく届け出

がなされている。

(常駐代表者)過去、十数億円の届け出の懈怠があったので、再発しないよう府において適正に指導されたい。(議長)管理もチェックされたい。

公明党府議団の視察

4月21日(火)、府議6名が来場。場内視察と常駐代表者等との意見交換会を実施。まずは、現状を知っていただく考え。

路面下空洞調査業務

青果・水産の大通り・小通り、立体駐車場前道路や管理棟前駐車場等を対象に専門業者が標記調査を5月中旬から下旬にかけて実施。結果に基づき、必要に応じて二次調査や補修措置を行う。調査中は、荷物の移動などの協力をお願いする。

(常駐代表者)場内業者に対する周知はどうするのか。休場日の実施か。

(大阪府)実施前に書面等で場内周知をする。工期等は、今後、委託先と調整する。場内の皆様のご迷惑にならないよう留意する。

管理からの報告

活性化事業

ハード事業
R7年度実績:約4千300万円(提案額4千万円)(税抜)
水産小通りの防鳥ネット設置工事など

R8年度予定
青果卸売場天井清掃・防鳥ネット改修工事(11〜20番柱間)

青果大通り区画線引き、管理棟裏災害備蓄倉庫改修工事など

ソフト事業

市場見学
京阪百貨店「中央市場お買い物見学ツアー」4/17(金)
※協力:近畿中央ヤクルト販売株式会社、(株)林田商店、拓新水産(株)、北果

梅花女子大学食文化学部管理栄養学科「5/18(月)」
※協力:食品衛生検査所

大学連携
追手門学院大学「大阪なす試食宣伝会」4/23(木)
※協力:JA大阪南、大果

維持補修事業(税抜)
R7年度152件、6千130万円(提案額6千万円)
青果軒下通り舗装工事など
R8年度「4/9」6件、74万円

大阪府依頼事業
R7年度:1件
水産B棟低圧幹線設備他改修工事「3/21(土)完成」7千100万円(税抜)
R8年度:1件
配水管改修工事6千674万円(税抜)「工事期間未定」

ごみ関連
不法投棄
R7年度累計31件「対策開始前に比べて98%減少(投棄物)家電製品など(投棄場所)水産立体駐車場、青果「ゴミ置場」付近など
発見次第、防犯カメラにて確認

認、投棄者による自主回収
悪質な持込投棄や不法投棄には入場禁止等の行政処分、警察へ通報2件立件

青果くず排出状況「〇は前年度同月比」
R7年度実績
排出量7849トン(+2503トン、+46.8%)
処理費用(税抜)1千687万4705円(+591万4千989円、+54%)

3月単月実績
排出量44.1トン(+28.46トン、+178.4%)
処理費用(税抜)95万4815円(+62万7千839円、+192%)
※5月より負担金額の見直し(運搬費のコストアップ分※従量制の試行的導入「R9年度」)
※大量排出は事前に管理もまて連絡を受け入れ態勢及び食品ロス削減

従量制は、「ゴミ置場に重量計を設置し計測して費用負担をお願いするもの。導入にあたっては十分な協議が必要。併せて、「ゴミ置き場の集約も必要。

(議長)従量制の導入により、個々の会社が個別に処理契約を結ぶことにならないか。(管理)そこになると、処理単価が割高になる。

(常駐代表者)加工に伴う青果くずの多寡、直荷引分に係る青果くずの扱い、排出量が少ない事業者の経営を圧迫、以上から、従量制の方向かと思う。

木製廃棄パレット排出状況「〇は前年度同月比」
R7年度実績
排出量6万5千450枚(+1万710枚、+19.6%)、1日平均259枚
処理費用(税抜)676万2千980円(+190万4千940円、+39.2%)

3月単月実績
排出量5千70枚(+680枚、+32枚/日、+14.8%)
処理費用(税抜)54万2千180円(+13万2千230円、+32.3%)

4月実績(4/14/8)
排出量1千190枚±0枚、±0%、1日平均238枚
※外部からの持ち込み禁止利用可能なパレットの再利用の徹底を。

一般廃棄物排出状況「〇は前年度同月比」
R7年度実績
排出量1千4539トン(▲5491トン、▲27.4%)
処理費用(税抜)1千189万5千873円(▲449万2千718円、▲27.4%)

3月単月実績
排出量1066トン(▲101.1トン、▲48.7%)
処理費用(税抜)87万2千264円(▲82万7千264円、▲48.7%)

禁煙対策
R7年度ルール違反の状況
通告書交付(違反者)7件「場外4件」
警告書交付(再違反者)0件
更に累犯で入場禁止

対策開始からR7年度までの累計
通告書交付(違反者)累計401件「場外108件」
警告書交付(再違反者)累計

次ページに続く